

# 一般質問

## 久松 公生 議員



**Q** 廃校の活用として、「かすみがうら市ならではの道の駅」の整備について伺う

**A** 道の駅の可能性も含め、よりよい活用方法を検討していきたい

**Q** 廃校の活用は全国的であり、近年は創業支援のためのオフィスや地元特産品の加工工場など、用途は様々です。本市は千代田地域では果樹栽培や果樹観光、農業が盛んであり、霞ヶ浦地域においても水産業、水産物加工業が盛んな資源の豊富な地域です。今後、(仮称)千代田PASマートインターチェンジが整備されることも鑑みて、廃校利活用のひとつに是非「かすみがうら市ならではの道の駅」の整備を検討してはどうか、お伺いします。

**A** 市長 議員からご提案の「道の駅」整備については、観光振興や地元物産販売などに大きく貢献し、地域活性化につながるものと考えます。中でも旧七会小学校や旧上佐谷小学校については、スマートインターチェンジに近く、「道の駅」には最適な場所ともなり得ると考えられるところです。今後、廃校については、それらの可能性も含め、よりよい活用方法を検討していきたいと考えております。

**Q** 地域資源の発掘と地域経済の活性化を図るのに有効な、ふるさと納税制度ですが、開発支援補助金等や本市の魅力ある資源を最大限にいかして、寄附額をこれまでの倍、2億円をめざしていただきたいと考えますが、今後の取り組みについて、お伺いします。

**A** 産業経済部理事 ふるさと納税制度は、寄附による財源増加や、地場産品のPRによる地域産業の発展など、ふるさと納税による経済効果は大きいものであると認識しております。議員ご指摘のとおり、寄附額をより増やせるよう、更なる市内地場産品のPRやふるさと納税ポータルサイトの拡充、謝礼品の新規開拓に取り組んでいくとともに、かすみがうら市の魅力がより伝わる謝礼品をご提供できるよう調査・研究してまいります。

**4321** 複合交流拠点施設等整備計画について  
ふるさと納税について  
廃校小学校の利活用について  
かすみがうら市の観光振興について



▲旧七会小学校

## 佐藤 文雄 議員



**Q** 給食費の無償など、子育て支援にシフトした予算の配分について伺う

**A** 保護者負担の軽減だけでなく、様々なアプローチで頑張ってください

**Q** 2017年には小・中学校とも学校給食を無償化した自治体は76自治体だったのが、現在は224自治体に増加し、5年間で3倍となっている。子育てを優先する順位をどう位置づけるかが問題だ。市長の見解を伺う。

**A** 市長 給食のことを考える場合には、保護者負担の軽減だけではなく、質的な内容の充実とか、様々なアプローチがあると思っておりますので、併せまして総合的に検討を重ねて、保護者負担の軽減についてもできるだけ早く、少しでも多くできるように頑張ってください。

**Q** 国民健康保険税における18歳までの均等割をゼロにすることについて、伺う。

**A** 市長 少子化の背景の一因とされている子育て世帯における負担軽減は、本市だけの課題でなく、全国的にも極めて重要な課題であることから、より一層の子育てしやすい環境づくりの一助とすべく、引き続き全国市長会を通じ、国への支援対象及び財政措置の拡充に係る要望を続けていきたい。

**321** 「義務教育は無償」に関わって保護者負担の解消について  
国民健康保険税の引き下げについて  
入札制度の改革について

### 質問通告事項



## 議員 健夫 設楽



**Q** 政治倫理条例に係るコンプライアンスについての見解を伺う

**A** 市民の信任をしつかりと認識し、その負託に応えなくてはならないと考えております

**Q** 政治倫理条例とコンプライアンスについて、かすみがうら市は、近隣市町村では制定されている政治倫理条例が2005年の合併以来、実に17年間制定されてきませんでした。政治倫理条例制定の重要な事項―合併後の市長逮捕等の事件、市長一親等脱税有罪判決事件の事実確認と市長の見解、政治倫理基準のセクハラ・パワハラ等ハラスメント条項について伺います。

**A** 市長 平成18年に指名競争入札をめぐる汚職事件、平成24年には税法違反の事案がございました。市民の信任を受けた市長として市長等の政治倫理条例案を今議会に上程しました。

**A** 市長公室長 特に牛久市はセクハラ・パワハラ等全ハラスメントを対象としており現代の社会的方向性に沿ったものと思います。

**Q** 市の畜産業についての実態と、飼料、電気料、燃料費等の値上げに対して把握している対策について伺います。

**A** 産業経済部長 霞ヶ浦地区が養豚農家1戸、飼養数約330頭、養鶏農家5戸、約15万4800羽、乳用牛8戸、約300頭、肉用牛6戸、約1840頭、千代田地区、養豚農家5戸、飼養数約6550頭、養鶏農家3戸、約19万6500羽、乳用牛1戸、約10頭、肉用牛2戸、約20頭です。今後も飼料電気料等価格の高水準が続く見通しであり、政府における本格化する配合飼料等高騰対策の動向を見据え、本市の対応についても検討してまいりますと考えております。

### 質問通告事項

**21** 政治倫理とコンプライアンスについて

養鶏畜産業のインフル被害、飼料電気料燃料値上げの実態と対策について

**3** 第一次市文化保存活用地域計画について



## 議員 龍人 矢口



**Q** 工業団地の環境整備、さらにはアクセス性向上のための道路整備について伺う

**A** まちづくりの方針として、大変有効なものとして認識しております

**Q** 神立停車場線の国道6号以降の延伸、向原工業団地周辺から土浦北インターチェンジへ向かう道路整備について見解を伺います。

**A** 都市建設部長 同じような構想として、本市の都市計画マスタープランの千代田地区のまちづくりの基本方針として、向原工業団地から土浦北インターチェンジへのアクセスバイパス整備促進が位置づけられております。向原工業団地の生産環境の向上や土地利用の促進など、千代田地区のまちづくりの方針として大変有効な道路整備として認識しております。

**Q** 神立駅を中心としたまちづくりを考えた上で、工業団地等へのアクセス性の向上など、土浦市との連携を推進すべきと考えますが、市長の所見をお伺いします。

**A** 市長 議員ご指摘のとおり、私も神立駅を中心とした生活圏は、土浦市とかすみがうら市の境界を挟んでおりますが、不可分の間柄であるというふうに考えております。ご指摘のあった道路に限らず、ハード・ソフト、様々な面で両市が連携をすることによって大きく将来が開けていくというふうに考えておりますので、土浦市との連携強化に向けて、しっかりと努力してまいりますと思います。

**Q** 高齢者等へのスマートフォン普及促進に、市としてどのように関わることができるのか、考えをお伺いします。

**A** 市長公室長 既に行ってきたスマートフォンを所有している方を対象とした講習のほかに、スマートフォンを利用したいけれども、使い方が分からない高齢者等の不安を解消し、その上でスマートフォンに換えることの必要性を判断できるように、体験会のような機会を携帯電話の事業者等と連携して開催したり、近隣で開催している講習会等をお知らせするなど、高齢者等のデジタル社会への参加を後押ししたいと考えております。

### 質問通告事項

**21** 向原工業団地周辺地区の土地利用について

スマホの普及促進について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、60分に短縮して行いました。

## 櫻井 繁行 議員



**Q** (仮称)千代田P.A.スマートインターチェンジの供用開始の時期について伺う

**A** 令和10年度から13年度が見込まれる時期かと考えられます

**Q** 市民の方々にとって、(仮称)千代田P.A.スマートインターチェンジの供用開始の時期は一番興味のあることだと思います。どのような計画になっているのかお伺いします。

**A** 市長公室長 本事業は平成30年度から約5年間で新規事業化となり、関係機関のご協力により、おおむね順調に進んでおります。今後の完成や供用開始の時期につきましては、前例等と一般論となりますが、事業の認可から、おおむね7年から10年程度かかるようございます。したがって、おおよそ令和10年度から令和13年度あたりが見込まれる時期かと考えられます。今後、地域の方々をはじめ、関係機関のご協力を得ながら早期完成を目指してまいります。

**Q** ヤングケアラーの支援には様々な観点からのフォローが必要となり、管轄する部署も複数にわたるため、調整に苦戦するのが実情のようです。また、貧困家庭などの問題に比べ、外部から発見しにくいといった課題もあります。答弁であったように、私も介護、福祉、医療、保健、教育といった様々な機関が連携し、それぞれにおける支援策を想定していくことが非常に大事なことであり、具体的などのように取り組んでいくのかお伺いします。

**A** 保健福祉部長 議員のご発言のように、ヤングケアラーは発見しにくい状況にあると考えております。また、発見した部署や機関のみでは、適正な支援につなげていくことが現状では難しいと考えております。このようなことから関係機関の連携が必要と申し上げたところで、連携については、既存の組織における関連部署で構成する協議会などを立ち上げ、ケースごとに定期的及び臨時的に協議を持ちながら、支援につなげていくといった連携を想定しております。今後は、ヤングケアラーの取り組みについて、国・県の動向を調査研究をしながら、連携組織の設置について検討を進めてまいりたいと考えております。

### 質問通告事項

- 1 (仮称)千代田P.A.スマートインターチェンジ整備事業について
- 2 本市におけるヤングケアラー支援策について



## 来栖 丈治 議員



**Q** 「集落を抜きたいから、入りたい」に変える地域「コミュニティの再構築について伺う

**A** 現状認識を踏まえ、具体的対策を継続的に推進する

**Q** 「行政区を抜けて、ごみだけ捨てたい」に対して、「3000円だ、5000円だ、6000円」とかという話をよく伺いますが、同じ区費で、抜けないで、掃除当番を免除し、当番役を他の人が負担し、ごみ出しがでなくなれば近隣でフォローするなど、地域の助け合いが求められますがいかが伺います。

**A** 市民部長 令和2年度に策定した市の第2期人口ビジョンにも位置づけられている新たな視点での施策、その内容は、行政区の持つ課題の主因と言える人口減少が当面続く見通しを踏まえて、「移住・定住施策の強化」「外国人市民との共生」「人材を育て生かす」というものです。

人口減少や高齢化の進む地域の担い手を育成するため、異なる世代による地域活動の支援、移住者が地域コミュニティに参加する機会を提供するなど、具体的対策を継続的に推進します。

**Q** 下大津地区集会所施設整備基本計画の進捗状況について伺います。

**A** 教育部長 市役所内の協議で、令和5年度に予定している組織変更に、地域コミュニティ関係業務を担当する部署を市長部局に設けます。全体的なコミュニティ施設の整備や公共施設等マネジメント計画の見直しなどを検討していることから、今般進めてまいりました下大津地区集会所施設整備基本計画については整備方向や内容を再確認するために、改めて集会所施設の整備について検討を進める方針となりました。

下大津地区集会所施設は旧下大津小学校敷地、旧下大津地区公民館敷地、下大津の桜がごぞいます桜の広場の3か所を総合的に判断した上で、建築工法を含め、より有効に活用される集会所施設となるよう関係する部署で協議を進めることとなります。

### 質問通告事項

- 1 「集落から抜きたい、から、入りたい」に変えていく地域コミュニティの再構築について
- 2 下大津地区集会所施設整備基本計画の進捗状況について

